

令和2年度 学校自己評価システムシート（県立狭山緑陽高等学校）

目指す学校像	生徒の多様な個性をみがき、自立した社会人に育てる二部制総合学科高校
--------	-----------------------------------

重点目標	1 生徒の自律を促進し、安全で安心な学習環境にする 2 生徒の学習意欲を高め、学力と進路意識の向上を図る 3 地域に根ざした開かれた学校づくりを進める
------	---

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇談会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局（教職員）	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価（月日現在）		
年度目標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標 〈生〉生徒アンケート、〈保〉保護者アンケート			
1	<現状>「安全で安心な学習環境づくり」をキーワードとして、生徒一人一人に対する理解に基づいた生徒指導を組織的に進めている。また講演会等を企画し、生徒の問題行動の未然防止を図っている。問題発生時は素早い対応を行っている。 <課題>基本的な生活習慣が確立していない生徒や他者とのコミュニケーションを取ることが苦手な生徒がいる。そのため、集団生活におけるルールやマナー遵守の意識を育む指導の充実が必要である。	生徒一人一人に対する理解に基づいた生徒指導の推進	①生徒指導部による「始業前の確認」を用いて全教員で指導に当たる。 ②日々の正門指導や校内巡回、学期毎の指導強化日を設け、きめ細かい指導を行う。 ③学校・家庭・関係機関や地域が一体となり指導を行う。 ④交通安全に関する教育を充実させる。 ⑤いじめ防止対策を進める。	①全職員の協働によって生徒一人一人に対する理解に基づいた生徒指導を行ったか。 ②〈生〉遅刻や授業遅刻をしない等、日頃から時間を守ることを心掛けている。 ②-2〈生〉校則に従った服装や身だしなみをしようと努めた。 ③〈保〉制服等身だしなみを整え、本校生徒としてふさわしい行動を取っている。 ④⑤〈保〉学校は健康・安全に関わる指導を適切に行っている。			
	<現状>生徒の抱える様々な課題に対して、教職員と教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、事務室等がチームとなって支援を行っている。 <課題>多様なニーズに対応した支援を充実させ、中途退学者の防止、修学に対する支援等を充実させることが課題である。	多様なニーズに対応する教育の推進	①生徒の抱える様々な課題に対して、教職員と心理や福祉等の専門家がチームとして支援に当たる。 ②学校を窓口として福祉関係機関等と連携し、生徒の状況に配慮した支援を行う。	①生徒に対し個別に適切な支援を行えたか。 ①②教育相談・特別支援教育推進委員会による研修会を充実させ、多様なニーズに対応する教育の推進における職員の資質能力の向上を目指したか。 ①②-2〈生〉中学校の時より、明るく元気に学校に通っている。			
	<現状>校内も外履き利用としているが、来校者から校内が綺麗であるという評価を得ている。 <課題>生徒の校内美化意識を高めるとともに、時間割上、限られた時間でを行う清掃活動をより効率的に行うことが課題である。	清掃活動・感染症防止対策の充実	①保健管理部が中心となり、「毎週木曜日は清掃活動強化日」という生徒の意識を高める。 ②全職員が感染症防止への取り組みを進める。	①清掃活動強化日に関する生徒の意識を高め、取組を充実させたか。 ①-2〈生〉環境美化・清掃にしっかり取り組んでいる。 ①-3〈保〉学習環境が整備され、落ち着いた環境の中で学習に取り組める。 ②毎日の換気・必要箇所の消毒を行ったか。			
2	<現状>授業づくり委員会が中心となって、「教員相互授業観察用紙」を用いた各教科による授業公開の取組を進めている。また、昨年度のタブレット追加配置及び教室へのプロジェクター設置を踏まえ、タブレットを用いた授業が徐々に広がっている。 <課題>各教科による授業公開には、教科に関係なく多くの教職員が参加している。今後も授業改善の取組を推進させ、一人一人の学力を伸ばす教育を充実させる。	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善	①授業づくり委員会が中心となって、「教員相互授業観察用紙」を用いた各教科による授業公開の取組を行う。 ②未来を拓く「学び」プロジェクト事業による公開授業を実施する。 ③校内研修等を通して効果的なICT活用のノウハウを共有する。（動画配信・オンライン授業の準備）	①各教科による授業公開（全教科一回以上）の取組を充実させたか。 ①②成績不振者の割合が昨年度より下回ったか。 ①②-2〈生〉本校の授業に満足している。 ①②-3〈保〉学校での授業は熱心に行われている。 ③〈保〉授業内容はわかりやすく工夫され、学力が向上する授業が行われている。			
	<現状>「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」を利用した進路指導や生徒の科目選択に関するガイダンスを充実させている。 <課題>授業に熱心に取り組む生徒や学習意欲の高い生徒が多くいる一方で、授業を欠席することによる未履修、未修得者や基礎学力に課題がある生徒もいる。進路意識についても生徒の中に差があり、卒業後の進路を見据えて計画的に高校生活を過ごすことができない生徒もいる。	生徒の学習意欲と進路意識の向上	①「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」によるキャリア教育を充実させる。 ②「高校生のための学びの基礎診断」の指導を充実させ、基礎学力を向上への意欲を高める。 ③自分の進路希望に合った科目選択を生徒が行えるような履修指導を行う。	①「高校生のための学びの基礎診断」に関する取組を充実させたか。 ②図書館や進路資料室の利用者が増えたか。 ②-2〈生〉本校の進路指導は充実している。 ③〈生〉科目選択がスムーズにできるよう、ガイダンス、説明等の履修指導が適切に行われている。 ③-2〈保〉進路説明会・面談など、進路についてのガイダンスやアドバイスが適切に行われている。			
3	<現状>生徒の地域ボランティアへの参加や校外清掃活動の取組等により、地域に根ざした開かれた学校づくりを進めている。	開かれた学校づくりの推進	①引き続き、地域と学校の連携・協働を進める。 ②近隣公民館、自治会への広報誌配布を継続する。	①地域と学校の連携・協働を進めたか。 ②近隣公民館、自治会への広報誌配布を継続したか。			
	<現状>中学生等への広報活動の形を確立し、本校の特徴や魅力を発信している。 <課題>「学校における働き方改革基本方針」に沿った広報活動を展開し、入学志願者の増加を目指すことが課題である。	生徒募集に関する取組の充実	①HPを通して本校の魅力を発信する。 ②説明会・体験入学、中学校訪問等を工夫して本校の魅力を伝える。	①HP・説明会・体験入学、中学校訪問等を工夫し、本校の魅力を伝えたか。 ②本校への入学志願者を増加させたか。			

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	